

「TA を活用した授業」申請書記入例（記述式の部分）

教育開発支援センター

1 複数名又は大学院生以外の TA を雇用する理由（設問 9）

<記入例>

(a) 複数名を雇用する理由

- ① 300 名以上の多人数講義であり、受講生からの質問対応に必要なため。
- ② ○○と△△の分野で専門性が求められるが、双方の専門性を持つ TA 確保が非常に困難であったため。

(b) 大学院生以外の TA を雇用する理由

- ① 指導学生が学部生のみで大学院生の TA 確保が困難であり、かつ、TA として業務を遂行できると認められる学部生を確保可能なため。
- ② 大学院修了後の卒業生であるが、同科目で長期間 TA としての実績があり、受講生への質の高い学習支援が期待できるため。

2 授業の特色（設問 11）

授業の内容に加え、理念・方法・環境（人数・使用予定機材など）などを中心にご記入ください。TA の必要性にも言及をお願い致します。

<記入例>

申請科目は、○○学部 1 年次必修科目であり、××名が受講予定である。△△学の基礎知識や卒論執筆に必要な課題発見能力、発見した課題をチームで解決する能力の修得を目的とする。学生同士の教え合い・学び合いを重視した授業を行うため、毎回グループワークまたはプレゼンテーションを取り入れる予定である。また、授業時間外も CEAS のトピック機能を用いて受講生同士の議論を行う。このような学生同士の教え合い・学び合いを活性化させるために、授業時間内外での TA によるファシリテーションが必要となる。

3 TA の活用方法（設問 13）

毎回の授業（授業時間内及び授業時間外）における TA の活用方法を具体的にご記入ください。

<記入例>

授業時間内では、①受講生からの質問対応、②受講生のプレゼンテーションに対するコメント、③ディベートの司会及び審査補助、以上 3 点を中心に行う。授業時間外では、①CEAS 上での受講生同士の議論に対するコメント作成、②授業内容の振り返りや打ち合わせ、以上 2 点を中心に行う。

4 期待される効果（設問 14）

設問 13「TA の活用方法」を实践して期待される効果を具体的にご記入ください。

<記入例>

受講生からの質問対応や受講生のプレゼンテーションに対するコメントを行うことで、受講生の学習内容に対する理解が深まるとともに、学習意欲を喚起することが期待される。また、TA がディベートの司会や審査補助を行うことで、教員は議論の経過を詳細に見ることができ、より適切な審査やコメントを行うことができる。さらに、CEAS 上での受講生同士の議論に対してコメントすることで、授業時間外学習を促進することが期待される。

また、教員は授業内容について TA の意見を聞くことで、授業内容の改善に資するヒントを得ることができる。

以上